

平成25年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

東松島市教育委員会

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

平成25年4月24日（水）

3 参加児童生徒

東松島市内の小学校6年生（420人）、中学校3年生（413人）

4 調査結果による全体的傾向の概要

(1) 教科に関して

小学校、中学校ともに国語、算数・数学において、平均正答率が下回りました。中学校では国語がA問題（知識に関する問題）、B問題（活用に関する問題）とも県や全国平均に近い正答率となりましたが、数学のB問題では6ポイント以上の差が開くなど、全体的に活用に関する力の定着に課題が見られました。

(2) 生活習慣等に関して

本市の小・中学生は県や全国と比較して、平日の家庭におけるテレビやビデオ、DVD等の視聴の時間及びゲームをしている時間が多いことが分かりました。

(3) 教科と生活習慣等の関連に関して

「早寝、起き、朝ごはん」といった家庭における基本的な生活習慣が身に付いている児童生徒、テレビ等の視聴やゲームに取り組む時間について節度を守っている児童生徒は、どの教科においても正答率が比較的高い傾向が見られました。また、自分を大切に思う気持ちや将来の夢を持っている児童生徒も、正答率が比較的高い傾向が見られました。

5 調査結果（データ）の概要




5-1 教科に関する調査結果

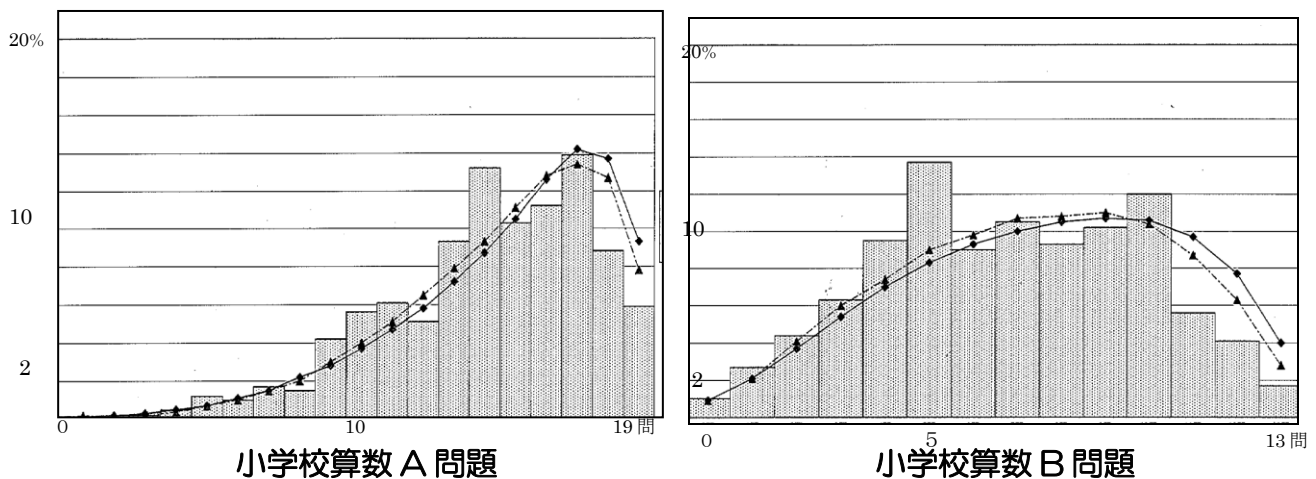
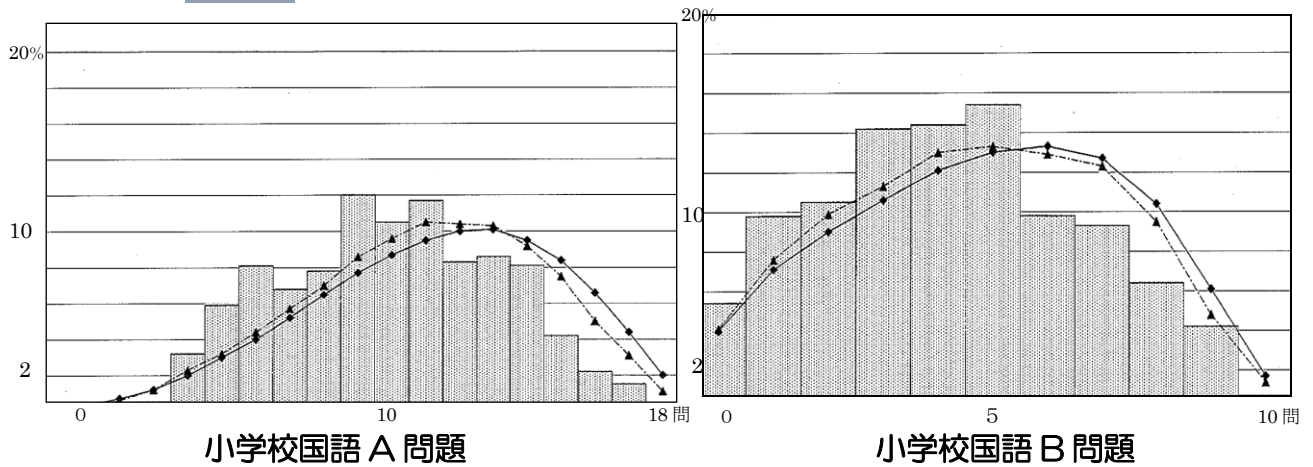
(1) 正答率一覧（単位%）




		「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題			
		本市	宮城県	全国	県との比較	本市	宮城県	全国	県との比較
小学校	国語	55.4	60.8	62.7	-5.4	42.7	47.6	49.4	-4.9
	算数	74.1	76.3	77.2	-2.2	52.6	56.5	58.4	-3.9
中学校	国語	75.8	77.6	76.4	-1.8	67.1	68.6	67.4	-1.5
	数学	57.1	62.2	63.7	-5.1	33.3	39.7	41.5	-6.4

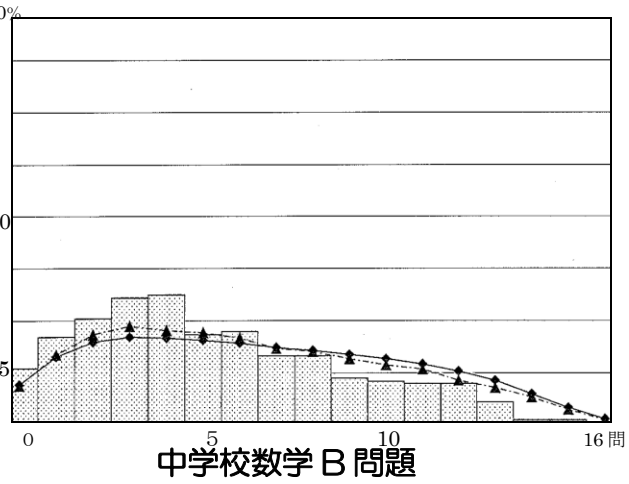
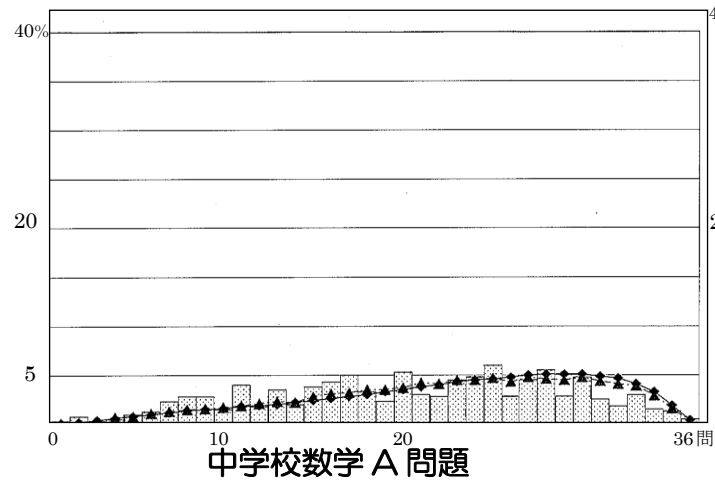
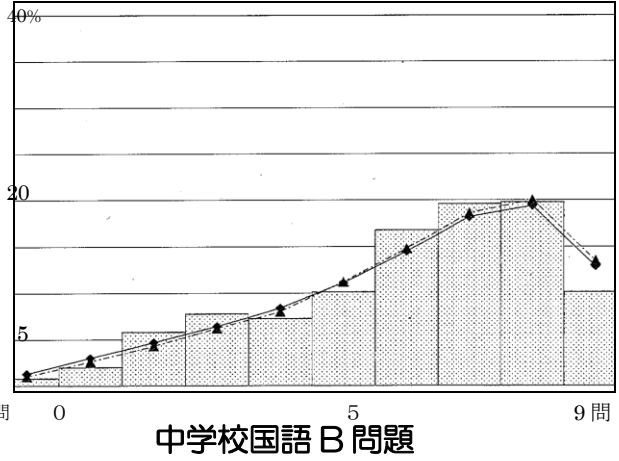
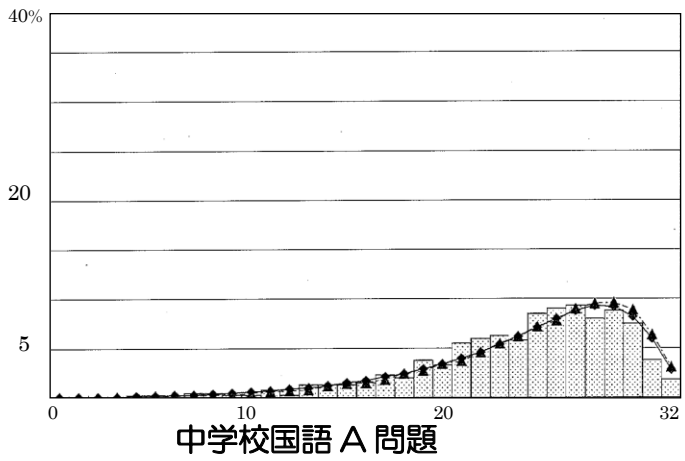
各教科の平均正答率は、宮城県と比較して1.8～6.4ポイント低い結果となりました。各学校では、それぞれの結果を分析し、今後の授業改善を図っております。

(2) 正答数の分布

【凡例】  本市  宮城県  全国 縦軸…人数割合 横軸…正答数



【凡例】  本市  宮城県  全国 縦軸…人数割合 横軸…正答数



(2) 各教科の調査結果に見られた傾向 (例)

※この調査結果は、今回出題された学習内容に対する結果であり、「学力」すべてを言い表しているものではありません。また、結果についても、学校における教育活動における一側面をとらえたものです。

凡例：○：おおむね定着している主な学習内容 ●：定着が不十分と判断される主な内容

【小学校国語】

- 接続詞の働きを理解すること。
- 相手の立場や状況を感じ取って聞くこと。
- スピーチの表現の工夫とその効果の説明に関すること。
- 推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由をとらえること。

【小学校算数】

- 加減乗除の計算に関すること。
- 示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断すること。
- 円柱について、底面の円周の長さや展開図の側面の辺の長さが対応していることの理解に関すること。
- 示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述すること。

【中学校国語】

- 描写の効果を考え、内容を理解すること。
- 情報を関連させて読むこと。
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。
- 文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと。

【中学校数学】

- 関数の意味の理解に関すること。
- 与えられた表から情報を適切に選択し、処理すること。
- ヒストグラムから相対度数を求めること。
- 事象を式の意味に即して理解し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること。

5-2 学習や生活習慣の様子について

(1) 学習に対する関心・意欲・態度

[単位%、()は県との比較]

質問事項	小学校	中学校
国語の勉強は好きですか。	51.0 (-6.3)	60.6 (+0)
国語の授業の内容はよく分かりますか。	76.0 (-2.4)	67.9 (-6.4)
読書は好きですか。	66.1 (-6.0)	68.6 (-5.7)
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話しを組み立てを工夫していますか。	52.6 (-4.8)	48.1 (-10.9)
算数・数学の勉強は好きですか。	62.2 (-4.4)	57.4 (+1.6)
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。	75.7 (-2.9)	68.1 (-2.4)
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	64.4 (-1.4)	40.6 (+0.8)
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	81.5 (+0.6)	84.8 (+4.2)

※国語と算数の勉強は「好き」と回答している小学生の割合は、県の数値よりも低くなっています。一方、国語の勉強が「好き」と回答している中学生の割合は、県の平均値と同じであり、全国の平均値より2.9%高くなっています。また、数学が「好き」と回答している中学生も全国と県の平均値を上回っています。(全国の平均値より+1.9%、県の平均値より+1.6%)

(2) 基本的な生活習慣、家庭生活、家庭でのコミュニケーション

[単位%、()は県との比較]

質問事項	小学校	中学校
朝食を毎日食べていますか。	98.3 (+1.6)	93.3 (-1.4)
普段(月～金曜日)何時ころにおきますか。 (午前6時30分より前)	53.9 (+7.7)	38.7 (+0.7)
普段(月～金曜日)何時ころに寝ますか。 (小：午後10時前、中：午後11時前)	51.7 (-1.4)	7.4 (-1.9)
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしますか。(3時間以上)	45.4 (+3.5)	34.4 (+4.7)
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲームを含む)をしますか。(3時間以上)	19.8 (+3.7)	19.7 (+5.4)
家の手伝いをしていますか。	83.4 (+0.1)	68.5 (-0.8)
家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか。	93.7 (+1.9)	87.5 (+0.9)
家の人と学校での出来事について話をしていますか。	76.1 (-1.7)	69.1 (+1.5)

※小学生、中学生の平日のテレビやビデオ等の視聴、ゲーム等をする時間が県の平均値よりも高くなっています。一方で、早寝の習慣は県の数値よりも低くなっています。

(3) 学習時間等

[単位%、()は県との比較]

質問事項	小学校	中学校	
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	61.7 (+0.4)	45.9 (-2.6)	
家で学校の授業の予習をしていますか。	42.2 (-5.4)	37.4 (-10.9)	
家で学校の授業の復習をしていますか。	59.8 (-2.1)	58.6 (-2.2)	
学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾を含む)。	2時間以上	20.2 (-1.8)	24.7 (-6.0)
	1時間以上	37.1 (-5.7)	36.2 (+0.5)
	30分以上	32.0 (+6.7)	20.7 (+1.7)
	30分以下	10.8 (+1.0)	18.4 (+3.9)
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(小：2時間以上、中：3時間以上)	5.2 (+2.7)	8.4 (-7.1)	
学習塾(家庭教師含む)で勉強していますか。	35.9 (+3.6)	47.6 (-1.3)	

※普段の学校以外での学習時間が県の平均値よりも少ない傾向が見て取れます。中学校では、土・日曜日等の学習時間も少ない傾向にあります。

(4) 自分を大切にしたい意識や社会のルールを守ろうとする意識

[単位%、()は県との比較]

質問事項	小学校	中学校
自分にはよいところがあると思いますか。	61.2 (-11.0)	65.1 (-0.5)
物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	92.4 (-1.0)	92.5 (-1.2)
将来の夢や希望をもっていますか。	84.8 (-1.6)	71.1 (-2.6)
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	93.2 (+1.5)	92.5 (-0.1)
学校の決まり(規則)を守っていますか。	94.2 (+4.4)	92.0 (-0.2)
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	95.1 (+0.1)	94.0 (+1.2)

※自分を大切に思う気持ちや将来に対する夢や希望を持つことについて、県の平均値よりも低くなっています。

5-3 生活習慣と学力の関係について

(1) 早寝と学力の関係

校種	普段(月～金曜日)何時ごろに寝ますか。	平均正答率(%)			
		国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	午後9時以降10時より前	55.8	44.7	75.1	53.6
	午前0時以降	49.1	23.3	56.1	34.6
中学校	午後10時以降11時より前	77.0	67.1	58.9	35.6
	午前0時以降	71.7	61.0	47.7	25.4

※小学校・中学校ともに夜遅くまで起きている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて低くなっています。

(2) 早起きと学力の関係

校種	普段(月～金曜日)何時ごろに起きますか。	平均正答率(%)			
		国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	午前6時以降6時30分より前	56.3	43.9	76.2	53.5
	午前7時以降7時30分より前	51.9	38.8	64.9	41.7
中学校	午前6時以降6時30分より前	75.5	68.3	58.5	34.2
	午前7時30分以降8時より前	62.5	57.8	39.6	19.9

※早起きを心がけている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べておおむね高くなっています。

(3) 朝ごはんと学力の関係

校種	朝食を毎日食べていますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	食べている	56.2	44.0	74.9	53.4
	全く食べていない	46.3	33.3	70.2	48.7
中学校	食べている	77.3	69.2	59.6	35.5
	全く食べていない	43.8	22.2	26.4	9.4

※朝ごはんを毎日食べている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて圧倒的に高くなっています。

(4) テレビやビデオ、DVD等の視聴時間と学力の関係

校種	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしていますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	1時間以上、2時間より少ない	62.1	48.0	78.2	55.0
	4時間以上	51.5	38.2	70.3	51.9
中学校	1時間以上、2時間より少ない	76.7	66.9	59.0	35.4
	4時間以上	71.7	63.4	50.8	27.2

※時間を決めテレビ等を視聴している児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて高くなっています。

(5) ゲームをする時間と学力の関係

校種	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム含)をしますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	1時間より少ない	59.0	45.5	76.2	56.8
	4時間以上	48.6	34.3	67.6	43.5
中学校	1時間より少ない	77.2	68.7	61.0	34.6
	4時間以上	70.9	61.3	45.4	21.8

※時間を決め節度を守ってゲーム等をしている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて高くなっています。

5—4自分を大切に思う思いと学力の傾向について

(1) 自分を大切に思う気持ちと学力の関係

校種	自分にはよいところがあると思いますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	当てはまる (思う)	53.9	42.4	71.9	49.3
	当てはまらない (思わない)	48.4	27.8	66.6	40.7
中学校	当てはまる (思う)	72.1	60.4	52.4	31.9
	当てはまらない (思わない)	72.5	63.4	47.8	25.0

※自分を大切に思う気持ちをもっている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べておおむね高くなっています。

(2) 将来の夢や目標をもつことと学力の関係

校種	将来の夢や目標をもっていますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	当てはまる (もっている)	55.7	42.7	74.6	52.4
	当てはまらない (もっていない)	48.7	32.7	64.9	45.4
中学校	当てはまる (もっている)	76.7	67.1	57.4	33.3
	当てはまらない (もっていない)	75.1	66.5	56.5	33.4

※将来の夢や目標をもっている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて高くなっています。

6 「確かな学力」の育成に向けた本市の取組

本市では、児童生徒の「確かな学力」向上を図るため、次のような取組を行っております。

(1) 授業改善に向けて

- ① 各中学校区の小・中連携（矢本一中、矢本二中、鳴瀬未来中の小・中学校連携）による授業参観や授業研究を行い、小・中学校の円滑な接続に努めています。
- ② 各学校では、中学校教員の専門性を生かした小学校での出前授業や少人数指導、チームティーチングによる個に応じた指導の充実を図っています。
- ③ 県教委と連携し、学力向上サポートプログラム事業に市内の3つの小中学校を指定し、国語、算数・数学の学力向上を目指した取組を強力に進めています。
- ④ 今年度、市内小中学校の教員9名に教科等指導員を委嘱し、授業改善や教員の指導力向上に向けて、各学校の校内研究等における中心的役割を担っています。

- ⑤ 国語と算数・数学の到達度テスト（CRT 検査、対象：小2～中3）を実施し、その結果分析を市教科等指導員が行うとともに、市小・中学校長会との連携により教務主任者研修会を開催して、授業の工夫、改善策をまとめ、各校の授業づくりに生かしています。

（2）学習習慣の定着に向けて

- ① 学び支援コーディネーター事業により、「イトっ子学習会」を展開し、放課後や土曜日曜、長期休業期間の児童生徒の学習をサポートしています。
- ② 各家庭に配布しているリーフレット「家庭も学びの場ー望ましい生活習慣や学習習慣作りに向けてー」や児童生徒に配布している「学習の手引き」に基づき、家庭における生活習慣や学習習慣づくりの呼び掛けを行っています。

（3）志をもつ児童生徒の育成に向けて

- ① 市内の中学校区ごとに展開している「志教育」で次のような取組を行っています。
- ・小・中・高の異校種間連携による出前授業や授業研修会等の実施。
 - ・心あったかイトころ運動（「あいさつ」「清掃」「ゴミ拾い」）の継続的な実施。
- ② 各学校では、確かな学力を支える健康な体づくりと体力の向上に努めています。
- ・「体力・運動能力調査」の結果考察に基づく様々な体力づくり運動の取組。
 - ・「はやね・はやおき・朝ごはん」の推奨。
- ③ 地域ぐるみで児童生徒を育てる体験活動の充実を図っています。
- ・協働教育（プラットフォーム）推進事業の充実。
 - ・職場体験学習等を中心としたキャリア教育の充実。

7 保護者、地域の皆様へ

今回の調査から、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、知識の活用を図る指導の充実が、学力向上にとって極めて重要であることが分かりました。

また、家庭における「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣やテレビの視聴時間を決めて家庭学習をすることは、本市の学力向上の課題解決に向けて大きく関連しています。

そこで、児童生徒の確かな学力の定着を図るために、各家庭では、以下のような取組をお願いします。

- 基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせましょう。
- テレビ視聴時間や携帯電話等の利用について、お子さんとルール作りをしましょう。
- 家庭での読書をさらに勧めましょう。
- 子どものよさを見だし、本気でほめましょう。
- 郷土の自然や文化に触れる幅広い体験をさせましょう。

将来への「志」をもたせることや自立心を養うことが、学力向上の土台であり、学習習慣や生活習慣の確立に極めて重要です。

今後も、子どもたちに対して、家庭や地域の温かい見守り、お声掛けをお願いいたします。